

いのちを育む

1人1人が生きる地域・学校・職場づくりとは

“生きやすさ”ってなんでしょ？

「日本で“最も”自殺の少ない町」に、そのヒントとなる生活がありました。

誰もが“生きる”、学校・職場・町づくりとは何か、一緒に考えてみませんか？

参加無料
申込不要

定員100名



日時 2019年 3月31日 日 13:30～16:30(開場 13:00)

場所 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ 東館2階 第2・3セミナー室
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地
<アクセス>裏面のアクセスマップをご覧ください。

基調講演

未来を生き抜く力、見つけたい

—日本で“最も”自殺の少ない町の調査から—

岡 檀氏

情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任助教/慶應義塾大学SFC研究所 上席所員



慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科博士課程修了。博士(健康マネジメント学)。日本で“最も”自殺の少ない町での調査を行い、一連の研究成果により、第1回日本社会精神医学会優秀論文賞、第5回藤田利治賞(精神保健統計部門)などを受賞。近年では、小学生が成人するまでを追跡するコホートスタディ、「未来を生き抜く力、見つけたい」を開始した。さらに、路地をはじめとした町の空間構造特性の調査に着手するなど、“コミュニティの在り方”をテーマに多様な研究を展開している。著書『生き心地の良い町—この自殺率の低さには理由(わけ)がある』(講談社、2013年)

パネルディスカッション

●パネリスト

いきいき職場づくりのためのメンタルヘルス対策

山根 英之 | (一財) 京都工場保健会 専任カウンセラー/臨床心理士

京都工場保健会の専任カウンセラーとして、企業や自治体で従業員のメンタルヘルスケア・働きやすい職場づくりのためのコンサルテーションや研修の企画・実施も手掛ける。京都における産業心理職のパイオニア的存在。

子どもたちにとって心の居場所のある学級、学校とは

三輪 秀文 | 京都府総合教育センター 教育相談指導員

生徒指導主任や教育相談主任等を歴任。教育相談主任時代には、多くの不登校生徒に対応し、別室登校の先駆けとして活躍。その後、中学校教頭を経て乙訓地域で中学校長を三校つとめる。校長時代には、いち早く自殺予防教育に取り組む。

●座長

濱野 清志 | (一社) 京都府臨床心理士会 会長/京都文教大学 教授/臨床心理士

主催: 一般社団法人 京都府臨床心理士会
助成: 京都府自殺対策事業補助金

後援: 京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会 (順不同、予定団体含む)
お問合せ: 190331sympo@kyoto-accp.jp (一般社団法人 京都府臨床心理士会 自殺対策シンポジウム担当)